



糖尿病患者の血糖コントロール率

<項目解説>

HbA1cは、過去1～2か月の血糖値のコントロール状態を示す指標で、耐糖能正常者の基準値は4.6～6.2%（NGSP値）とされています。

平成25年6月1日より、日本糖尿病学会は糖尿病治療におけるガイドラインを改訂し、「合併症予防のための目標値」を7.0%未満としました。

<当院の実績>

【平成25年度】	67.0%	(2,158 / 3,219)
【平成26年度】	52.1%	(1,388 / 2,663)
【平成27年度】	55.5%	(1,330 / 2,394)
【平成28年度】	46.1%	(1,071 / 2,325)
【平成29年度】	45.3%	(1,239 / 2,733)

<当院の自己点検評価>

当院では、消化器内科を中心に糖尿病の治療にあたっています。治療内容は、食事療法と運動療法を基本とした生活指導が主体となりますが、生活指導によるコントロールが不十分な患者さまには、薬剤による治療を実施することになります。

適切な薬剤を使用することにより、合併症の発現を最小限に抑えることを目標として治療に取り組んでいます。

<定義>

- ・算式のとおり

※日本病院会QIプロジェクトの定義に準拠

<算式>

分子：HbA1c（NGSP値）の最終値が7.0%未満の外来患者数

分母：糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数